

入院診療計画書② 頸部郭清術を受ける患者さまへ 1ページ目

ID	患者ID	新規作成日	新規作成日
氏名	氏名		

日付				～
経過	入院時	術前	術後	1～3日後
目標	発熱がない 手術について理解できる 入院生活について理解できる 転倒予防行動ができる		疼痛のコントロールができています 創部に問題がない 呼吸状態が安定している 安静が守られている	発熱がない
注射		手術前に点滴が1本あります。 8：30開始の場合は手術室で実施します。	手術日は絶飲食ですので、手術後も点滴をおこないません。	手術1日後以降は食事の量をみて適宜点滴をへらしていきます。 抗生剤の点滴が1日2回あります。
投薬	持参のお薬を確認します。	指定された薬のみ内服します。	内服はありません。痛みがある場合は点滴などで対応します。	持参のお薬を再開します。
検査				必要時採血があります。
放射線				
処置	診察室で診察があります。 手術時間などについて説明します。 診察の際に手術部位のマーキングを行います。	手術時間：時 分 手術着に着替えます。 8：30以外の場合は開始時間が前後する場合があります。	40歳以上の方は血栓予防のため足にポンプを巻いていきます。歩けるようになるまでつけていきます。 	診察があります。診察時は看護師が声をかけます。 のどをカメラでみさせてもらうことがあります。 首の管は術後3～5日 抜糸は術後1週間程度を予定しますが、状態によって前後します。
	血栓予防のための靴下のサイズを測定します。 	手術前に血栓予防の靴下を履いてもらいます。 手術翌日しっかり歩けるようになるまで脱がないでください。	手術の翌日まで酸素を吸っています。病状に応じて時間の変更もあります。	手術の翌日まで酸素を吸っています。病状に応じて時間の変更もあります。
		手術室まではご家族と歩いて行きます。	手術の翌日まで酸素を吸っています。病状に応じて時間の変更もあります。	手術の翌日まで酸素を吸っています。病状に応じて時間の変更もあります。
食事	常食または治療食です。 夜の9時から絶飲食です。	食べたり飲んだりはできません。	朝から全粥が出ます。 食べにくいものなどありましたら看護師に御相談ください。	朝から全粥が出ます。 食べにくいものなどありましたら看護師に御相談ください。
清潔	入浴できます。時間の制限があるので看護師に相談してください。	入浴はできません。 朝、歯磨きを念入りに行ってください。	入浴はできません。清拭を行います。	入浴はできません。清拭を行います。
排泄	トイレ歩行可能です。 毎朝、前日の排泄回数を確認します。	手術前にお手洗いを済ませておいてください。	手術後お小水の管が入ってきます。 手術後はベッド上排泄になります。	朝、お小水の管を抜きます。 毎朝、前日の排泄回数を確認します。
安静度	活動の制限ありません。 外出・外泊はできません。	特に制限はありませんが、できるだけ自室でお待ちください。	手術後はベッド上安静です。 枕は使用しないでください。	歩行可能です。初回歩行時は看護師が確認します。 その他、起き上がりが辛いときは看護師にお知らせください。 転倒転落に注意ください。 特に制限はありません。転倒転落に注意ください。 外出・外泊はできません。
リハビリ	リハビリテーションの予定はありません。			
看護ケア	1日2回お熱等測定します。	手術へ行く前にお熱等測定します。	手術後は頻回にお熱等測定します。	1日4回お熱等測定します。
	身長・体重を測定します。 症状や不安なことをおたずねします。			無理のない範囲で腕の運動を行いましょう。
指導	入院生活に必要な事、手術について説明します。 入院生活のご案内のパンフレットを確認してください。 ネームバンド装着、ピクトグラムについて説明します。 入院生活で気をつけていただきたい9ヶ条について説明します。 転倒転落危険度カードの説明と表示をします。また、転倒についてのビデオを見てもらいます。 貴重品はセーフティボックスを使用してください。鍵は必ず手首に装着してください。 ナースコールの説明をします。 手術室の看護師と麻酔科の医師が訪室します (手術の合間に来棟するため時間は未定です)。 パジャマのレンタルをされない場合は手術後の浴衣とバスタオルをご用意ください。 T字帯を購入していただきます。 	貴金属・義歯・コンタクトレンズなどは外してください。貴重品や金庫の鍵は家族の方に渡してください。 手術中ご家族はデイルームでお待ちください。 	こんな時はすぐに教えてください。 ・呼吸が苦しいとき ・創部が腫れてきたとき ・ドレーンのバックが血液でいっぱいになったとき ・点滴の部位が痛いとき ・傷近くの管が抜けてしまったとき ・腰痛が出現したとき	首の安静を保つため、起き上がる時は手で頭部を支えてください。 首から出ている管は引っ掛けたりすると抜けてしまいますので、体動時は気を付けてください。 管が引っ張られないように袋に入れて管理しましょう。

入院診療計画書② 頸部郭清術を受ける患者さまへ 2ページ目

ID	患者ID	新規作成日	新規作成日
----	------	-------	-------

氏名	氏名
----	----

日付	～			
経過	4日後	5～8日後	9日後	10日後
目標	発熱がない 疼痛のコントロールができています 転倒予防行動ができる 安静が守られている			合併症の症状・所見がない 日常生活の注意点について理解できる
注射	手術1日後以降は食事の量をみて適宜点滴をへらしていきます。 抗生剤の点滴が1日2回あります。			
投薬		必要時抗生剤の内服が追加処方します。	お薬を追加して持ち帰ってもらう場合、薬剤師からお薬の説明があります。	お預かりしていたお薬、退院処方等をお渡しします。
検査				
放射線				
処置	診察があります。診察時は看護師が声をかけます。のどをカメラでみさせてもらうことがあります。 首の管は術後3～5日、抜糸は術後1週間程度を予定しますが、状態によって前後します。			
	 <p>術後3～5日で抜きます</p>		 <p>術後1週間ほどで抜糸です</p>	
食事	朝から常食が出ます。食べにくい場合は早めに医師または看護師へお伝えください。			朝食摂取後に退院となります。
清潔	入浴はできません。清拭を行います。	抗生物質の点滴が終了し、首に入っている管が抜けたら、首下のシャワー浴ができます。	抜糸をしたら入浴可能になります。	
排泄	毎朝、前日の排泄回数を確認します。			
安静度	特に制限はありません。転倒転落に注意ください。 外出・外泊はできません。			
リハビリ	リハビリテーションの予定はありません。 無理のない範囲で腕の運動を行きましょう。			
看護ケア	1日2回お熱等測定します。 症状や不安なことをおたずねします。			朝食前にお熱等測定します。
指導	首の安静を保つため、起き上がる時は手で頭部を支えてください。 首から出ている管は引っ掛けたりすると抜けてしまいますので、体動時は気を付けてください。 管が引っ張られないように袋に入れて管理しましょう。	抜糸を行った傷口には白い紙テープが貼用されます。次回外来までは無理に剥がさないようにしてください。 剥がれてしまったときはA棟1階の売店に売っている3Mマイクロポアを傷口に対して縦に貼るようにしてください。	退院後の生活全般についての指導を行います。 ・入浴は通常通りに行ってもらって大丈夫です。傷口のテープが剥がれてしまったら貼り直してください ・食事は規則的に摂取するようにしましょう。制限は特にありません ・社会復帰については医師へ相談してください ・無理のない範囲で肩の運動は行ってください ・退院処方のある方は、薬剤師から退院前日か当日に説明があります ・退院時診察は基本的にはありませんので前日の診察時に医師に必要な事は確認してください	心配事や確認したいことがありましたら看護師に確認してください。 お会計後退院になります。 忘れ物がないよう気を付けてください。 お大事にしてください。